

ロジックモデル参考例 分野「高齢者福祉」

※記載されているものは、例のため、実際に取り組んでいるものとは異なります。

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組	
実りある暮らし (5年後の目指す状態) 健康寿命の延伸 (数値目標) 現在から+〇〇歳	健康長寿でいられる (人生100年時代の生き方)	元気なうちからの取組	チェック体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上高齢者の全戸チェックリスト実施 ・健康管理手帳の配布 	
			元気の維持策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・PU体操クラブの増設 ・健康マイレージの実施 ・介護予防教室の開催 	
			相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストから対象者を絞り込み臨戸訪問の実施 ・相談体制の強化 	
		介護予防の推進		情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防パンフレットの配布 ・介護予防教室の開催
				場の提供の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブを活用した活動場所の確保 ・空き家等を活用した活動場所創設の支援
				主体的な活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的活動の担い手の育成 ・自主的活動団体への支援
		介護保険制度の推進 (要介護状態でも)		医療・介護連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療と介護を一体的に提供する体制の強化 ・医療と介護連携会議及び2市1町担当者会議の開催 ・地域医療・介護相談室委託業務
				認知症対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア推進会議の開催 ・チェックリストを活用した早期発見
				権利擁護の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見センターによる支援 ・市民後見人の養成

基本政策が、どの基本方針につながるか整理します。

目指す状態に加え、数値目標を設定します。
例の場合では、「〇〇歳」や「現在から+〇歳」などといったものが想定されます。

基本政策実現のために行政が取り組むべき事項・方向性を分類し記載します。併せて、KPIを設定します。
例の基本施策「介護保険制度の推進」の場合、「要介護認定率〇〇%を維持する」などが想定されます。

1つの基本施策に複数の取組を位置付けます。併せて、取組みにKSFを設定します。
例の取組み「権利擁護の拡充」の場合、「成年後見センターでの相談件数 〇〇件」などが想定できます。

1つの取組に対し複数の“具体的な取組”が位置付けられます。
(例は、参考のため2~3程度の記載となっています。)